

事業所における自己評価結果

事業所名		どれみ	公表日 令和7年4月1日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもの状況や人数、活動に応じて、個室や2つの活動室など部屋の使い方に工夫をしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		活動や子どもの状況によっては、基準より多く職員を配置するよう努めている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		週の活動予定や日課は、文字やイラストで示したり、活動ごとに部屋を分けたりしている。また、掲示するスペースを作り活動室は刺激が少なく落ち着いて過ごすことができる場所になるよう工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		基本は広いスペースを保つようにし、活動内容や遊びに応じて必要品を出して過ごしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静かな気持ちで過ごしたい時には、個室や活動室以外での過ごし方を提案し、子どもたちが過ごす場所や過ごし方を選択できるように声掛けを行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が出席する定期的な会議や振り返りの機会をできるだけ多く設け、共通認識の下で支援にあたるよう努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		「いいえ」のご回答やご意見をいただいたことに対し、検討し業務改善に繋げるよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員のヒアリングを年に2回実施したり、職員会議で意見を出し合う機会を設けたりし、業務改善に繋らせている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		理事会、評議員会を開催し、その評価を業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内研修の開催や外部研修への参加をしている。今年度は、意思決定支援、虐待防止、感染症に関すること、AED・エビペンの使用方法の確認等の研修に参加、実施した。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、保護者へ配布、玄関に掲示し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		本人、保護者からアセスメントを取り、意向を取り入れた内容で作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で発達段階や課題、本人の意向を整理した上で作成し、共通理解の下で支援している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容について職員間で共有し、計画に沿った活動プログラムや個々の課題に取り組む機会を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自のアセスメントシートを使用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに基づく5領域の視点を全て含めた総合的な支援を提供することを基本とし、5領域との繋がりを明確化した内容で設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各活動の担当が立案した上で、月単位で活動プログラムを組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		曜日で固定している活動もあるが、その他の曜日は子どもたちや保護者からの要望を取り入れながら、課題に沿った活動を提供している。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の課題や集団での関わりなど、個々の状況に応じて計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		全員が揃った確認は、週に2回打ち合わせの時間を設け行っている。それ以外の日は、その日の流れの詳細を記した日誌を基に確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	毎日ではできていないが、翌日や会議の場で報告、周知を図るようにしている。	振り返りシートなどを導入し、支援について共有する機会を積極的に持つことでより良い支援に向けた取り組みができるよう努めていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		モニタリング時にケース記録も活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行い、その時点での評価を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		基本活動を組み合わせながら幅広い支援ができるよう努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの状況や特性に配慮し、自己選択、自己決定の発信、方法について工夫するよう努めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		日頃から関わっている職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者を通じて主治医からの助言を得たり、障害福祉課、学校と連携し、情報共有を行ったりしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間計画を活用したり、月単位で下校時間を確認したりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		引継ぎ会に参加している。家族、相談支援専門員、サービス等利用計画を通して情報収集をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援専門員に情報の提供をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	今年度は研修の開催がなく、助言等を要するケースが特になかった。	今後も研修の開催やケースに合わせて参加や助言を検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	積極的な交流の機会はお持っていない。	保護者や子どもたちのニーズを踏まえながら検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域自立支援協議会（児童部門）に参加している。	
保護者への	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		引継ぎ時やアセスメント時に、事業所での様子だけでなく家庭での様子も伺い情報を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談があった時には、助言や情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。内容に変更が生じた場合は、速やかに周知を図るよう努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや面談等で確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を基に説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		今年度、個別に面談を希望された方はいなかったが、電話や送迎時に相談があった時には都度助言を行った。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	現在は開催していない。	開催希望について意見を聞きながら検討していきたい。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情受付及び苦情解決の体制については、契約時に説明をしている。今年度、苦情はなかったが、引き続きご希望やご相談があった際には迅速に対応できるよう努めていきたい。	子ども本人からは、言葉での表現が難しい場合もある為、態度や様子から心情を汲み取る対応を取っていききたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	活動の様子については、写真を取り入れた毎月のどれみ通信や法人機関紙で発信している。活動予定については、玄関に掲示したりお知らせにて発信したりしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取扱いについては、十分な配慮に努めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	絵カードや筆談、面談、電話での対応、通知にルビを振る等、配慮に努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在、事業所の行事等は開催していないが、リサイクル回収にご近所の方が協力して下さった。	地域に開かれた事業運営の内容や方法について、今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	保護者へは、年度初めに緊急時対応のお知らせを配布したり、毎月の通信にて学習や訓練の様子を周知したりしている。利用児と職員は、毎月防災学習や年に3回訓練を行い、理解を深めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	定期的に訓練を行ったり、備蓄品の見直しを行ったりしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約時やアセスメント時、受診後等に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	指示書の内容について保護者に説明してもらったり、原材料の表示を確認したりしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画書の年間計画に沿い、研修や訓練、活動を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	通信を配布し、取り組み内容について周知した。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	利用児の様子や活動、場面ごとに支援の振り返りを行い、職員会議や打ち合わせの機会に共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待についての研修を法人内研修で実施したり、外部研修に参加したりした。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現在、該当する利用児はいない。	